（一）　號四十七百六第　（日曜金）日一十二月四年四十四治明

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

購讀料　一ヶ月金三十錢　三ヶ月前金九十錢　六ヶ月前金一圓八十錢
廣告料　一行金三十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊

發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　松久[illegible]
發行所　京城西小門通　京城新報社
仁川支局　仁川宮町三丁目　電話二一一番

總督政治と世論（五）
―十六日大阪朝日新聞社說―

朝鮮總督

總督府の總督政治は頃日多く世の批難に上り、特に朝鮮内地に於て喧囂を極むるが如し、最近京城の記者團が寺内總督の言論抑壓に對する抗議を決議したるが如き、亦以て在鮮母國民の總督政治に對する感想の一般を察すべきなり、吾輩は屈ふ保護政治を掌りたる統監府が臨機の武斷決行を要したりしが如く、植民地の行政に任ずる朝鮮總督も亦時に其施政上一種の武斷を弄し、警察手段を要するの時もあるべし、されど斯る武斷と斯る警察手段は、併合以前に於ける保護政治時代に於てこそ屢其必要を見たれ、併合後の今日帝國の一領土と成り了して、日鮮人相共に其土に安んずるの時、豈亦當に倍蓰の武斷と警察權とを要せんや、伊藤統監が武斷決行の足らざるを以て當時に非難せられたるが如く、今の寺内總督がその武斷と警察權の濫用とに對し非難を蒙むるは亦已むを得ざるが如し、御用紙昨今の言說として印度埃及に於ける言論の不取締が騷亂の基を作したりしを詳說すと雖も、波蘭、芬蘭の如きは言論の極端なる取締が常に動亂騷擾の因を爲せしを想はざるべからず、されど吾輩の見を以てすれば朝鮮總督の言論抑壓は幸にも失敗に歸せるが如し、即ち總督政治の靈術、京城仁川の諸新聞を强て買收したりしは言論抑壓の挑戰たりしも、而も論議は却て内地の言論界より起り、總督府をして已むなく釜山埠頭に之を抑留せるの不体裁なる警察手段に出でしめたること是なり。

されば今の朝鮮總督の施政に對して憂ふべき所は必しも一言論の抑壓に非ず、只寺内總督の武斷主義と一僚屬の警察政治とが相抱合して不測の禍害を釀成せんこと、則ち一大憂患とすべし、蓋し藤公の統監政治は餘りに韓民に親み餘りに外國人を憚れ而して動もすれば日本人の利害を閑却したり。寺内子の總督政治や、其深慮の結果、鮮人の間に親を求め得ず、その武斷的にして法制を重んぜざるより、徒らに外國人の間に不安不信の念を買ひ、而して母國人の上には區々たる綱紀取締を苛ひて却てその勃興發展を抑束す、吾輩は今に於て曾統監政治を謳歌せんとするものにあらず、否な統監政治の過誤は寛に總督政治の失敗と同意義なり、何となれば母國民の利害を閑却し發展の根本義を沒却せるものなればなり、[illegible]植民地の施政は、終ろ[illegible]雖も韓民に親み外人を怖れたる藤公の統監政治は韓民の接近同化と外國人の好感とを贏ち得んも、今の總督政治が武斷的に憲兵と警察とを弄するの結果は、終にその治下に立てる鮮三者の全く相疎隔するに至るべし、是れ豈に國家の大患にはあらずや

御用紙が頻日サロル氏の印度政策を論じたるもの之を利用し來りて、鮮人に高壓的教育を授くるの非を明言したるは、甚だ思慮を欠ける言說と謂ふべし、伊藤なる言論を重んずる寺内總督は何が故に之を釜山埠頭に抑留せざりしか、若し鮮人をして斯る意見を以て總督の見地より出でたりと信ぜしめんか、彼等の服從を挑發するのみならず、正に陛下統治の下に入れる鮮人の親近同化を害するや大なり、斯る點に於て今の朝鮮に政治を行ふものが、保護國時代の統監政治と我領土たる今日の總督政治との上に隔然たる差別を念とするの必要なるを想ふ、前には時に武斷を弄し、憲兵警察本位を要し、教育制限主義を可としたらんも、今や日鮮の民人は協力して平和の裡に朝鮮半島の開發に任ぜざるべからず、隨て總督の所[illegible]者は將に別らんや、今日の半島到る處日本人と稱して鮮人の如く、是れ内民と俱に扶け共に進むものに非ずや、我寺内總督は何を苦んでか亦武斷政策を弄し、憲兵政治を敢てせんとするや

外事一束

▲聞く米國政府は墨國に向ひ國境にて流彈に斃れし米人に就き之が責任を負ふべしとの通知をなし又叛徒にも同一の通知をしたり此の通知は
▲米國が先きに二万の軍隊を國境に派遣せし以來最も强硬なるものなり。
▲會見 塞耳維王ピーターは墺國皇帝[illegible]問の爲め[illegible]月ブタペストに向ふ筈。

▲排日 米國加州選出議員ヘースは現行支那人排斥法を日本人及び亞細亞人の全体に適用せんとの法案を十五日議會に提出せり此法案通過後。
▲學生 商人旅行者を除くの外は一體年内に商工務卿より居住證明を要す。
▲居住 證明不所持者は直ちに送還すと云ふに在り米人何故に執拗なるか。
▲衝突 十六日奉天附近にて支那兵十名鮮人巡査補二名に暴行を加へ所持の銅を奪ひ暴兵を擧げて逃し暴兵二名は支那巡警局分署に逃込みたれば。
▲我兵 は分署に赴り御返還を迫りしも應せす於是我兵
▲分署 に至り强硬[illegible]
▲取調 中なりと[illegible]
支那兵此暴行をなす
▲調査 總裁は大[illegible]
▲新竹 新竹討伐隊[illegible]參列員を招待[illegible]
▲蕃人 猛烈に之に[illegible]
[illegible]

召使お初
第四十九回　狐法師

れ力彌兵衛れ進三人を鼎座にして、閑靜成る一室に談合の席は開かれぬ、此の一室に談合の席は開かれぬ、は云ふまでもなくれ進事公の事なりきが、れ進は此に由りて、一代出世の緒口を得るのみならず、錦右衛門の恐しき横擬事を免れて、女の操を全うすることを得べきなり、己に主人として擧ずるから、絶体に錦右衛門を厭ふにてはなけれど、彼女は親の許さぬ不義をして、一生を誤るほど智惠なき者にてはあらざりき、責し得べくば兩親の許可を得て、立派に婚儀を取結ぶにあるもれ進は町人に身を任すがさのみ望みにてもあらざりき、兄佐十郎の品行悠まらず、兩親に安心の事なき謂、その身いでいつう御辭退、

以上、婚姻を拒絶する心はなけれど、成るべくは獨立して一人の主に事へたかりき、いざ錦る時は何時にても錦る取りその上で御相談、故め私へ御返事あらすでござりませうかな」
を乞ふて、正木の家名を相續し得べき身上にてありたりき
故に彼女はこの理由をもて母に說き併せて彌兵衛の袖に縋りき
「私は錦尾樣お側に從いて、一人前の女に育りたいのでございます」
「ちやかの、汝のやうな不束者で、掟嚴しい奥勤めがならうかの、れ父親にも申し上げたりや、定めし御歡びあらう、木の箸に火を點むことならぬ上はこの器量なくしてこの家に在るは難し、嫁の身でない、差下さりませぬか」

「れ遠出世の端となる事、私は御殿へ上げて遣りたい、旦那さのもさゞ御同意、御納得もあらうが、うれまでは錦尾どの御返答、御猶豫下さることゞ爲るまいかの」
「ならぬことゞございませぬ、錦尾樣御所望、なれど今日は召仲れ、此まゝた儘にれ置きなさせらるゝれめでたうございませぬ」
「さらば、あなたからよく取頼び申し

[illegible]て、家名を繼ぐべき時節到來あるかも知れじとは、彼女が物心付きてより、絶わず心に思ふ處なりき、されば彼女は兩親の命とある

「さゝ頭のては何[illegible]」
「大丈夫でございます、[illegible]盡さうして、その心[illegible]くゝれ見込みが立てば、[illegible]私に手を下げて頼み[illegible]ございます、あなた様[illegible]れ許可さへあれば[illegible]この縁所に參ります」
「れ恥かしいが貧乏の手許で成長、禮儀作法もないで、折角左樣に仰せ下さる御老女樣れ顔に泥を塗ることがあつてはならぬで、私はそれの心配、一體は旦那にもれ話し申さでは協はぬはの」
「こりや御丈、れ進どの一生涯のれ大[illegible]

「承知の體へございます」と錦右衛門は難し氣に「あなた様の御承知となれば[illegible]尾樣もまての御縁を取持であるも同樣、れ進どの立身の緒口、御家名再興、錦ともなるのでも、縁に繋、私まで、此樣な悦ばしい[illegible]れ二方の事でございませぬ」
折から庭の中に錦右衛門の罵りたる聲は聞かね、
「土進よくいかゝれ進顔ばかり美しうても、心は鬼よりも恐しう、現在兄

見殺しにするおやわの、兄の佐十郎町會所へ引かるゝを、知らぬ顔で救ふては遣らぬちやわの」
「や」と彌兵衛は耳を欹てゝ、彼の聲伴ではなし」
「れ進、れ進」と錦右衛門は驅けて呼び「不憫さうに佐十郎は今引かれる、自身番手に由つて町會所へ渡される、これでも心强う云ふおちやわの」
「もし」と次にはれ力が聞き咎めて「誰かは存じませぬ、佐十郎の喉なされてあるぞ、體、仲がこれへ參り居るでござりますか」
れ進は苦しさ辛さを袖に噛みてはら〳〵涙、偏になり



▲東宮妃御容体

東宮妃殿下は今朝御熱三十七度六分より三十九度八分脉搏百四乃至百十八にて別に御變りなしと承はる

▲伏見宮御檢閲

第二特命檢閲使伏見大將宮殿下は五月四日午前八時釜山御發車八日より二十一日迄[illegible]本二十三日より二十五日迄鹿兒島二十七日より二十九日迄熊本六月二日より四日迄福岡六日より十九日迄小倉二十一日より二十三日迄大分方面を御檢閲あらせらる

▲大隈伯邸園遊會

大隈伯爵は來る二十二日正午より目下地方長官會議に出席中の府縣知事並に各大臣を早稻田の自邸に招待し盛んなる園遊會を開く筈

▲大屋長官歸任

大屋權平氏は十九日午後三時二十五分新橋發歸鮮す

▲高事務官の歸鮮

李王世子附事務官高義敬氏は健康すぐれざる爲め二十日午前八時十八分歸鮮の途に就けり

▲樞密院會議

十九日樞密院會議にて朝鮮總督府典獄及び看守長特別任用令中改正の件を可決したり

▲施藥救療に訓示

施藥救療に付き內務省は地方長官に內閣の方針を訓示し地方長官は地方資金を說き寄附金を爲さしめ其他は自發的寄附を爲さしむべし

▲中野會頭出席（聯合大會）

京城に開催の內地朝鮮商業會議所聯合大會に東京會議所の出席者は會頭中野武營評議員稻本三郎の兩氏に決す

▲海獸保護會議

農商務省水產局にては近く米國華盛頓に於て國際海獸保護會議を開く[illegible]各國政府の出席者に對し[illegible]の許可を得ざる[illegible]如く公海に於ける[illegible]の自由を持續[illegible]する事[illegible]ては相當損害賠償を要求する等の二件を決議し直に其筋へ陳情したり

●市區改正有望

京城[illegible]民間より其筋に熱望しつゝある京城市區改正問題は當局者に於て[illegible]あるべき[illegible]而して[illegible]其[illegible]豫め詳細の調査設計を要するを以て[illegible]明年度豫算に計上し[illegible]が更に今後[illegible]行を困難ならしむる[illegible]準備的調査を開始すべしと

●金融部の監理

東拓會社金融部は半島金融界の一機關として設置されしものなるも其組織の然らしむる爲めか兎角別天地に隔在せるやの觀あり現に其目的は特種銀行の性質を有し銀行業の範圍を脫せざるに之が監督の如き別箇の監督官を設けるに見ても知るべし而して均しく銀行業たる以上は同一方針の下に律するを至當とすべきも事實上斯く別扱を爲せる爲め往々朝鮮金融界の圓滑に不都合を見るの虞れあるより之が統一は最も必要なりといふ[illegible]手腕ならしむべけ[illegible]ぐる樣し將來[illegible]事務も先づ[illegible]るものと見て差支[illegible]

●賃金低減請願

鐵道局現行の運賃は非常の高率にして啻に半島開拓上の一大缺點たるのみならず事實上甚不便少なからざるものあり今茲に鐵道院及南滿鐵道とに就き各其現行定率を比較し見んに

定率	朝鐵	鐵道院	滿鐵
五十哩以下	三〇〇	一六五	一八〇
百哩以下	二五〇	一三五	
二百哩以下	二〇〇	一〇〇	
三百哩以下	一五〇	八〇	
以上	一〇〇	七〇	

以上表示せる如く鐵道院に比すれば約倍額を示めし滿鐵に較ぶるも尙ほ甚しき高差を見る則ち滿鐵と吾が朝鮮とを比較するに滿鐵は平均一哩一錢八厘の定率なれば朝鐵の三百哩以下には及ばずと雖も若し二百哩以下なる時は二厘百哩以下なる時は七厘五十哩以下の短距離に至ては實に一錢二厘の高差あるなり元來旅客は短距離に多きを例とするに斯の如き有樣に在るは實に遺憾の極みなりと謂はざるを得ず且つ滿鐵に在ては清國人の爲めに特に四等客車を設け低度の土着人に對し相當便利を與へつゝあるに朝鮮に於ては其設けなく之が爲めに多くの朝鮮人は此至便機關を利用し能はざるの現狀なるより當[illegible]

●奮貨整理の將來

舊貨[illegible]度支部特別會計へ引繼ぎ[illegible]日銀代理店に於て之を取扱ふ筈な[illegible]流通額は果して幾干を[illegible]として推定し得べから[illegible]の主もなるものは葉錢[illegible]葉成錢の各南北道にし[illegible]亦多少の流通を見つゝ[illegible]白銅貨を見る紀道は殆[illegible]悉くし最近引揚げら[illegible]少許の計數に過ぎざる[illegible]流通期に在ては種々の故[illegible]難なるに比すれば盛況[illegible]らざりしも新貨と確實[illegible]るより一般に引換を爲[illegible]事務の進行をして急渦

●金融組合增設期

財務當局者に於て今回朝鮮全道に於ける金融組合增設の計畫を立て其設置場所及開業期等に就き目下委員の詮議中なるが增設組合數は三十ケ所にして多分五月上旬開業すべしといふ

●聯合大會代表員

來る二十五日より[illegible]席委員にして[illegible]し來れる氏名左の如し

(東京)會頭中野武營、議員稻茂三郎、書記長三名
(大阪)副會頭法惟會作、常議員藤江卓夫、書記長仲直之助、三名
(京都)代表員井上吉兵衛、同石田善兵衛、書記長西池成義、三名
(名古屋)理財部長森本善七、評議部長平年能右衛門、書記松田秀永三名
(新潟)會頭目黒彌三、副會頭長濱省作、書記長風間正太郎、三名
(宇都宮)會頭上野松次郎、特別議員行森龍太、二名
(長野)議員小笠原平作、一名
(富山)議員極本峯、特別議員牧野平五郎、書記長小塚嶽太郎、三名
(松江)書記長太田壽之丞、一名
(大垣)議員牧村甚兵衛、同河田貞次郎、二名
(水戸)會頭加七平、一名
(豊橋)副會頭中西森太郎、一名
(高岡)會頭木津太郎平、特別議員菅野傳兵衛、同荒井總三、三名
(高松)副會頭渡邊常太郎、議員岡前權寺哉、議員宮原末次郎、三名
(博多)常議員渡邊龍次郎、同渡邊綱平郎、書記長田原吉郎、三名

出席委員氏名不明のもの

橫濱、神戸、長崎、伏見、函館、廣島、川越、和歌山、上田、佐賀、津、四日市、直江津、青森、甲府、杤木、前橋、濱松、岡山、山形、德島、久留米、下の關、鹿兒島、高知、尾道、福井、長岡

●鮮米移入税意見

大阪[illegible]業組合は今回當地に開[illegible]商業會議所聯合會に提出[illegible]入朝鮮米課税撤廢に關[illegible]大阪商業會議所に提出し[illegible]るが議場に於ける高端[illegible]會議所之に當るべしと

●第十次大會

在朝鮮商業會議所第十次大會は二十日午後二時より當商業會議所に開會釜山大[illegible]各會議所提出の議案[illegible]悉く代表者[illegible]上山口京城商業會議所[illegible]會頭より穀物移出入税撤廢の爲東上運動の經過の報告ありて散會せり

商議大會彙報

▲鐵道局の好意

朝鮮鐵道局にて今回渡來の各會議所出席者一行に對し非常の好意を表し特別列車を差立つるのみならず途中各驛長に命を與へて鄭重に迎接せしむべく且つ客車內には特に臨時的裝置を爲せる等着々見ざる程の準備を爲し居れり

▲準備委員確定

一行歡迎會は最も盛んに擧行すべく夫れ〳〵準備委員を囑託せしが其氏名左の如し

一、式場及食卓掛 小川勝平、松浦源治、増田三穂、高木德衞、池田長兵衛
二、模擬店掛 油川長次郎、西元榮之助、久保田虎助、森村太郎、田代宗四郎
三、會計兼會員募集掛 秋吉富太郎、林田金次郎、前田熊市、佐野斎藏、深水清

▲一行の集合地點

集合[illegible]其他朝鮮人側より定めたるものと協同して準備に當る筈なり

土地收用令（三）

第二十二條 起業者過失なくして關係人其の義務を履行するを能はざるときは面長は關係人に代はりて之を處理すべし

第二十三條 義務者本令又は本令に基きて發する命令に依る義務を履行せざるとき又は之を履行するも一定の期間內に終了する見込なきときは地方長官は自ら之を執行し又は第三者をして之を執行せしめ其の費用は義務者の負擔と爲すことを得

前項の規定に依ることを能はざるときは地方長官は直接に義務の履行を强制することを得

第二十四條 第十七條及び前條の費用を納付せざる者あるときは國稅滯納處分の例に依り之を徵收することを得

第二十五條 第十一條の呼出を受けたる鑑定人又は事實參考人故なく之に應ぜざるときは五十圓以下の罰金又は科料に處す

第二十六條 鑑定人虛僞の鑑定を爲したるときは一年以下の懲役又は三百圓以下の罰金に處す

第二十七條 本令又は本令に基きて發する命令に依る起業者の權利義務は事業と共に其の承繼人に移轉す

本令又は[illegible]關係人の承繼人に對しても其の效力を有す

第二十八條 本令に於て使用と稱するは權利の制限を包含す

本令に於て關係人と稱するは使用又は收用すへき土地物件の所有者及其の土地物件に關して權利を有する者を謂ふ

第四條の公告ありたる後其の土地物件に關し權利を取得したる者は關係人と看做さず但し既存の權利を承繼したる者は此の限に在らず

第二十九條 本令に規定するものゝ外土地の收用又は使用に關し左に揭くる事項は朝鮮總督之を定む

一、事業準備の爲他人の土地に立入り又は障害物を除却する場合に關する事項
二、二以上の行政區劃に渉る事業に付地方官の認定裁決又は決定を爲す場合に關する事項

附則

本令施行の地域及期日は朝鮮總督之を定む

●三月中の經濟概報

三月中に於ける朝鮮各道に於ける經濟概況を聞くに米穀の滿洲補潮方面へ續々として輸出せられ內地の高値につれ[illegible]て引續き機會を促し解氷と共に出廻り[illegible]なからん且牛皮や穀物あり旁々一層增進し[illegible]貿の實行も好況にして市場一般に繁忙を告げたり從って金融市場も亦た夏物仕入雜貨材料等の資金增加と相俟ち漸次活況を呈し銀行勞働行高二千百七十萬圓に達し前月末に比し二百五十萬圓の增加を見たり

●農工銀行會議

各農工銀行は毎年當地に會議を開催せるが本年の開期に就ては未だ何等の協議なきも多分五六月頃なりと云ふ

▲人さま〳〵▼（三六）

岡崎遠光君

君は東洋軒常右衛門に言はせると「れ既は常陸の茨城郡、御高三十五萬石、御家は代々副將軍、齋水戸城下の生れである、帝大の文科を出て、獨逸に留學し、政治經濟の學を修めドクトルの學位を得傍ら同國商工業の調査を遂げ歸朝の後ち日本銀行に入つた、三十九年今の日韓瓦斯電氣の素地を造らんが爲め其筋の特許を得て瓦斯會社を起す、當時京城の邦人は內地人の慫に止まらず、從て株式募集に困難を極む、君は東奔西走間募集を說く、數多くの株主中には君の熱心に餘儀なくされたものもあつたそうだ、コールブラン電氣買收の後ちは改めて日韓瓦斯電氣會社の專務取締役に擧げられ、始めの程は隨分れ國風の頑固一天張りで商業の衝に當つたが、近頃はこれではならぬと氣が附いたと見へて民吏の風を脫せんと勉め、まづどうにか商賣人らしくなつた、君近著「朝鮮の金融及び商業」なる一書を著し世に公にした、此書を編君の思想が民吏的にあらざることを證明する、君に餘技あり長歌短歌を作る、彼の琵琶歌伊藤公のハルビンの如き君の作であるのだ或人曰く老猿君は本業よりは餘技の方が旨いと、老猿とは君の雅號で君の顏に因んで附けたものだソウだ。

●豆滿江輕鐵會社

當地石井新氏が北咸開發のため唱道しつゝありし豆滿江畔に輕便鐵道敷設の計畫は日鮮兩有力者の贊成甚だ多く愈々株式會社として創業することゝなり創立委員長として東京の大海原尙義氏推され創立委員は東京の荻野芳藏、三浦覺一、福岡の淺香茂明、名古屋の平野瑞吉、當地李址鎔伯、山口太兵衞、石井新の諸氏に決し各々準備に着手しをれりと

●木內長官の消息

[illegible]地方巡察の途に在る木內農商工部長官は二十日午前[illegible]に向け同地[illegible]を視察したりと云ふ

●小松氏の歸任

北鮮地方視察中なりし小松總務部長官事務取扱は十九日夜本府に歸任したり

●學務課長內定す

既報の如く新任弓削總督府書記官は學務課長に內定せしより氏は鹿兒島より赴任の途次東京に赴き關屋學務局長と打合をなしたる上來任すべしと

●食鹽輸入の取扱

黃海道に於ける食鹽欠乏して既報の如くなるが今回總督府告示第百十號を以て夢金浦、龍塘浦の兩稅關看視所に於て從來の如く食鹽輸入の手續を開始することゝなれり

●痘苗具配布數

內部地方局より本年三月中各地に配布したる痘苗具數十二萬四千〇四十五具其下具數四千六百八十二具なるが之れを各道別に記せば左の如し

道別	配布具數	其下具數
京畿道	六、五九〇	四、三二五
忠淸北道	八、五四四	
忠淸南道	八、九五〇	
全羅北道	四、七〇〇	
全羅南道	一〇、五〇〇	
慶尙北道	一三、六一三	一三七
慶尙南道	二〇、八九八	
江原道	六、八九〇	
黃海道	一〇、三三〇	一五〇
平安北道	五、四〇〇	
平安南道	一〇、三二〇	三〇
咸鏡北道	三、七〇〇	
咸鏡南道	一三、二〇〇	四〇
濟州島	五〇	
計	一二四、〇四五	四、六八二

●十九日の强風雨

十九日の强風に關し京城測候所員の語る處によれば十九日朝山東角に現はれし低氣壓は東北東に急進し安東縣北部を經て吉林地方に入りたれば其影響は南鮮に及ぼし當地に於ては午後二時五十分降雨を始め三時最低氣壓七百四十八耗に降ると共に强風となり漸次風雨猛烈となり四時最强風西南二十一米六（一平方米風壓四十七貫餘）に達し（四十一年三月九日二十二米一に次ぐ強風なり）に達し夜に入り稍風力衰へ、やゝ降雪を催し一時間餘にしてやみたり之恐らくは本期の終雪にして昨年より五日早く平年より四日遲し又降雨は昨朝未明やみしも風雨再び强力となりて被害甚だ多く四十一年來の强風なりしといふ

●强風と被害

十九日の强風に付き京城を始め各郡部方面に於ける被害甚大なるよしなるが郡部は報告未着なれば明かに知るを得ざれど低氣壓の襲來方向より察すれば北朝鮮は取分け猛烈の筈なれば船舶、樹木、家[illegible]の倒壞、樹木の倒伏、公園亭子の轉倒[illegible]は屋根看板の毀損、土塀、門柱、[illegible]三を數ふれば鐘江に於て砂利取船二艘沈沒し龍山に倒壞家屋一棟あり市內に於ても[illegible]の百花其外の大被害[illegible]の爲め[illegible]なりたるは風流子に取りては此上もなき大損害と云ふべし[illegible]幸ひ人畜には別條なかりしが既報の如く[illegible]

●電話線不通

十九日午後よりの暴風は黃海道海州、開城間の電話線破壞し今尙ほ不通なりと

●警備船の遭難

鴨綠江[illegible]に從事する警備船三島丸は十九日暴風の爲め安東縣沿岸に漂流し[illegible]傾斜甚しきも沈沒するに至らず目下引戻しの手配中なりと

●歸還兵に贈菓

水原及龍山の駐屯隊たりし第四ヶ中隊は來る廿三日出發仁川發廿四日御吉野丸に搭乘歸還の筈なるが仁川民團に於ては各兵に朝鮮名物の菓子を寄贈すべしと云ふ

●關釜連絡船不着

關釜連絡船[illegible]十九日夜釜山に入港せざりしため二十日夜當地着內地よりの郵便物も從て不着となりたり

●工傳製作品陳列會

東部梨花洞なる工業傳習所にては毎年春秋二季一般に實習作業の狀態を觀覽せしめ併せて生徒の製作品を陳列して縱覽せしむる筈なるが本年は來る二十二日（土曜日雨天順延）午前九時より第三回陳列會開催の筈にて目下準備中の由昨秋第二回開催の際は觀覽者一萬三千人以上に達したりと殊に本年開會當日は同所附近[illegible]の盛期なれば觀覽者も多かるべし因に觀覽希望者は豫め同所に申込み觀覽券の交付を受くべしと

●京都の佛教僧俗大會

貴衆兩院議員中佛教信者の人々によつて發起されたる佛教僧俗大會は四月三十日京都市下京區高倉通り五條下る眞宗高倉大學大講堂に於て大會開催する由にて各新聞社へも出席を求め來れり

公人私人

△藤本修三（江原道內務部長）十九日浦尾へ
△水口隆三（平安南道財務部長）不知火
△竹崎六次郎（大邱府尹）上京中の處十九日大邱へ
△佐々木正太（慶北財務部長）歸任
△矢野久三郎（鎭南浦稅關長）同上
△川久保定七（岐阜縣技師）同釜山へ
△武田秀雄（海軍機關少將）同上
△本田常吉（鎭南浦府尹）同平壤へ
△森榮（代議士）同上

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客 十九日の分 乘車客 七二九 下車客 六八九

[illegible]賃金 [illegible]、[illegible]五[illegible] 一、一[illegible]圓 十七、〇〇

▲龍山驛乘降客 十九日の分 乘車客 一八二 下車客 二二〇

乘車賃金 二二〇、二九

▲龍山驛荷扱高 十九日の分 發送 二噸 到着 二二六噸

貨物賃金 二二、七四

▲京城手形交換高▼

四月	金高	枚數
二十日	[illegible]	三九五

▲治外法權▼

寺內總督は二十日東京をたつて伊勢の大廟、[illegible]及び其他の[illegible]に[illegible]の趣向はれた筈だ、謹みて惟ふに併合の一擧は[illegible]の事[illegible]し奉るところだ▲併し總督にとつて必要な事は併合の一事を奉告すると同時に今後の朝鮮統治に關し、[illegible]ことだ、惟ふに神託にして一ツ度降らんか、彼れは生れ換へ、別人と成って歸ることになる、而らば現在の不人氣なども恢復するの日何の造作も無いことになる▲全國聯合商業會議所聯合大會の期が愈迫よつて來た、此空前の大會が我京城に開かるゝのは吾人京城人の名譽だ、而らば京城人は此大會の成功を期し誠心誠意盡力すべしだ▲大會の決議として現はるべき事は多々あるべし、併し記者の願ひは穀物移出稅の撤廢と共に其撤廢の運動方法をも決議したいのだ、而して此撤廢は是非共加へたいのだ▲遠來の客たる內地商議代表員の爲に我京城の日鮮商業者等が合併して大歡迎會を催すのは結構の事だ有志の士は奮って該大歡迎會に出席し內地一と粒撰の實業家に接して歡待に勉め、同時に親交を結ぶべし▲序に言ふが聯合大會を目前に控へて肝腎の京城會議所が書記長を代理心得で濟まして置くのは不都合の事だ、會員及役員等は此際宜しく考慮を廻らすべきだ▲度支部農商工部等が倭城臺へ引越せば折角出來た立派な建築物がクタ腐りになりはせぬかと心配して居る閑人が鐵ちもある、ナニ心配には及ばぬ、アトは拂下げて行路病者の收容所に使ふさ▲昨日今日の風はドウダイ、明日ありと思ふ心の仇櫻、櫻はあんまり振るはぬが、折角に咲いた李花が大抵飛んでしまつた▲一と度無常の風來らば治者も被治者も智者も學者も乃至總督も新聞記者も一列一體に瞑目するのであるコウなれば六親眷屬嘆き悲しむと雖も其詮なかるべからず、嘆息の根の殘へる中に去るべきものは我執と妄執とである。

菜根譚（抄出）（三）

君子之心事。天靑日白。不可使人不知。君子之才華。玉韞珠藏。不可使人易知。

●礦業界に於ける黑鉛熱又々流行し來りたる如く平北道宣川附近の黑鉛鑛に着[illegible]に備へて二三鑛區を買占めんとする者渡來しなるを大業に縱斷する者多くも[illegible]

●寄座 例の東京商賣堂有聲活動寫眞にて其專組は昨紙廣告の通り

▲相場電報（十二日）

明治町西村支店着電

▲大阪米 ▲大阪株式 ▲同直取 ▲同取引 [illegible]

月寄十六圓八十一錢▲止八十六錢▲五月寄八十五錢▲止八十九錢▲六月寄九[illegible]十七錢▲止十七圓七錢

一圓七十六錢▲最高低無▲止六十七錢▲六四寄十一圓八十六錢▲最低八十七錢▲止八十七錢

多情多恨

京藝妓の半生（五）

花月樓 若一

實地へ來てからの奮闘振りは未だ少々働かして頂かなければならないからと逃げを喫つてニコ／＼笑つて引り居て話を爲ない弟の岩雄も皆様のお蔭で高等工業學校に通みました彼れが卒業致しますればナンボ親方の說くことには一つも異存な答へをしない、雖介然らば此方極は物がある、と力んで見ても御當人選に皆の欲なの思ひが先に立つて知つてる事聞いてることの悉てを素破抜く氣にならぬ、三面記者として然う氣を揉くつちや駄目だよと冷笑されたので差し問へない一つ二つを紹介するを斯う言ふのがあるのだ、彼れも所謂白狀し兼ぬ如く岡さんには一方ならず御最負を蒙つた然るに其の岡さんがアー載つて終ふ以前の事日や月やは判然せぬが彼れは或る宴會で或る人を見初めた、ト云ふのだれ安からぬ少々他を馬鹿にした原因がある、夫れは其の或る人なるものが片時忘るゝ隙もない傳八さんに蛇を生やさしたらす分違はぬと云ふ題振りであるからと云ふのだ、某所で何うがなして嬉しい言葉の一つも掛けて貰はうと散々氣も揉み手を盡したが先方や木像か金佛か何んの感じもない、焦むい口惜しい、此れ程思ふ心が通じないと云ふことがあるものかと思ふと殘念此の上もない、と云つて泣寢入るのも意地から無念で堪らないのみか其の女なんぞに眼も呉れぬ男振りが又なく惡いしい、雖然先方は堂々たる役人、役者や藝人と云ふのならアクスケに埒が開くが彼れ身分、夫れには立派な奥様も任るハシタない事も出來ないので若一程の剛の者が先方を思ひ身を思ふて遂々思ひ切つたのは讃れでもない彼の小松緑君であるのだ、若一

くアー云ふ方に配偶れる奥様はれ社合せですと、苦勞をして來た丈けに艶麗も趣ふ、現に角其の小松君とて其の當時夫れと知つたら何うだつたか遂に斷す可らずである、夫れは扨置き御の東拓の吉原さんは若一に見當を附けたのだが若一が眞平御免と引き退つたので面喰らつた吉原君が盲目滅法に切つて放した白羽の矢を背負つたのが一奴、昔は一奴だ人身御供に上つた譯だが相手が相手のれ化でない正眞正銘な人間だけに我慢もなる次第であらふ（れは）次は清華亭 今奴

李址鎔伯の怪手腕

▽鼻あかされた埈鎔氏

人として一つの癖はあるものゝ曰く女は御座れ博負事は御座れ酒は御座れの三道樂が夫れも人並み外れては少々許せぬ沙汰の限りと自分に出來ない自暴腹から屁り嗅く人達の口に喧く上る題戯者の李址鎔伯が永宣君（李埈鎔）氏の愛妾（平壌生れの妓生）初月を横奪つて知らん顔して居る人の噂さを紹介せんに今を去る四十一年五月の交、永宣君初夏の遊山を思ひ立ちて開城郡に出遊したるが其の際携へられたるが即ち彼の初月、幾日を此所に過す間に遠くてさへ近いと云ふ男女夫れが眼と鼻の間に居たことゝて恰で石油罐中に火の點いた燐寸を落した如に一と堪りもなく愛い妙どこそ成つたるを斯くと後日嗅ぎ知つた址鎔伯、何んな女かと垣間見ると自分の正室よりも妾の竹葉よりも龍山の別邸に居る内縁の妾（日人）よりも未だ學校へ通つて居る内縁のハイカラ妾よりも更に一層上等なのに不量見を起し望に我がものとろ成したりけるが永宣君への聞へを憚り一且故郷の平壌へ送り還し置き其の不在中に數千圓を投じて北部齋洞の畔に初月を住はすべき家を造作へ雛技場とやらを其の邸内に設け寄に同人を呼び寄せ日夜神仙境を中にチン鴨つて御座るを知らぬは埈鎔氏斗りと址鎔伯も罪が深い、未だ夫のみか過日は巧く儲けた千餘圓を投じて初月の誕生日の大酒宴を開いたと云ふ滿けれ、折角下げて貰つた六萬圓もアノ調子では亡くなつたらうと心配して居るものもあり、埈鎔氏が餘の遣だと餘る同情を寄せてるのもありと、何日になつたら址鎔伯のアノ惡癖が止むことやら

娘振り（五）

笹岡一貫君長女 笹岡京子

笹岡一貫君は本銀行檢査役から現の東洋拓殖會社に轉じて會計課長の重職に据つたのだ、郷里は確か京都と承知するが暫時北海道にも在住になつた、京子さんは東京本所區は深穂輔士の仇討で名高い松阪町の隣れ町相生町の産だ相な、本年正に二十二歳である、朝鮮へ來らるゝ迄は本所緑澤町にれ住居であつた、淺草は七軒町の東京府第一高等女學校を十九歳の時最優等で卒業せられた才媛である、籍いことは措くとして十六七の時分は頗との……申上げ兼ねるが……早く云ふと其のヤンチャで甲州は野猿流の奥の手を出して隨分女中を手甲摺らせたものだが年の功と云ふものは爭はれぬもので十八十九と年を拾ふにはなるに伴れてガラリ變つて温順くなられた卒業後縁談も隨分有つたが帯に短かし襷にや長しと云ふのでか未だに御兩親の膝下に居らるゝ、身長のスラリとした御容貌の美い孃さんである、御得意が裁縫で何時も夫れのみに親しんで御座る、れ父さんもれ母さんも揃つて質素の方であるから京子さんも又然うである。

娘振りでは甚だ領分が狹く感じますから明日から女振りと改めまするで其處で次は河村治平君五女河村森江子

日人・鮮人墳域

▽漢陽公園所感

漢陽公園が面目を革めつゝある、其の後園の桃も大分色づいて來た、毎日大麗な人出である何うだ行つて見てはと勸められたので出向く、成程大分面目は革まつた、後園の桃も色づいて見へる、遠く漢江の流れは滔々として碧瑠璃の如だ、遊山の群は彼處此所の樹陰や小松原に酔歌亂舞してる、三味線の音が盛んに我が鼓膜を顫はして行く、べこ／＼シャン／＼と、麒麟ビールの掛茶屋がある、娘壁を切り割つて桃園の方へ降りゝ墓が拓けた、何の氣もなく夫れに附いて降りた僕、歩はヒタと止まつた、見れば累々として鮮人の墳塋がある、土足に蹂躙するに忍びない然るに其の墓の上に衣類の汚れるを避けて据からげたる婦人連の幾組かが腰打ち掛けて居る、聞く所に依ると鮮人は祖先の墳墓城を非常に大切にする相だ、果して然らば之れを見たる鮮人は大なる侮辱を感ずるであらふ、蠻行・然も僕は敢て蠻行と云ふ、之れを爲すもの自身には決して惡意は無いのであらうが鮮人の目には惡意ある蠻行と映らるゝであらう、日本人は禮を知らぬ者と見らるゝであらう、僕は私に思ふた、ト云すれば無意識に有意識に斯る無謀な所行を敢して憚らぬ酒を用ゐし遊山客の出入する箇所より速かに之れを他の適當なる所に移すことの至當なるを、されば一は以て遊園地の躰裁を整ふべく、一は以て此の非行を一字半句も負さずして防止することが出來ようにと（公▲生投一）

●暴風の損害（仁川）

去る十九日より二十日午前九時迄の暴風にて付仁川に於ける被害は少からず目下取調中なるが重なる被害は寺町仁川小學校の雨天体操場入口破壞し尚校舍二階の硝子障子は全部破壞し此の損害高三百圓餘なるが体操場入口の破壞せしは十九日午後二時頃にて各生徒の授業時間中にて破竹の音響を以て壞れたるより教員及生徒の驚愕一方ならざりしが幸にして一名も負傷者無かりしは不幸中の幸なりし他に屋根の倒壞煙突の破損板塀ノ崩れ屋根看板の剝落等にて其數百に上るべく海上に於ては縣田組所有帆船一隻轉覆し鮮人所有帆船一隻解船一隻破損行衛不明鮮人船夫二名及朱安製鹽場増築工事中土手崩落し越川組人夫一名負傷右手折骨したりと云ふ而して各損害高を計算するに約四千圓餘ならん

●命根等の公判期

不逞漢安命根及梁起鐸等四十五名に對する内亂罪陰謀被告事件の事實審問は京城地方裁判所伊藤檢事の係にて目下嚴密審理中なるが安及梁は内亂罪の首謀者として處罰さるべく他の連類者に至りては各別に所謂強盜等を以て處罰さるべく而して全部の審理を了する迄は尙は四五十日を要すべく從つて公判期も來る六月頃なるべしと

●今曉の降雪（廿日）

人は花に醉ひ花は人に醉ひ瓢簞は酒を含んで却つて輕くなると云ふ四月二十日の拂曉、時ならぬ降雪に野も山も白妙の銀世界と變じたり、昨來東京に櫻花の上に雪降り積みて彼の水害あり、今春此の地に此の降雪ありて未だ咲ふに至らざる花も唇を閉づ、吁果して何の兆ぞと云ひたい所なれど左樣な御祭は嫌かすに好い既めで御座つたぞ寒眠覺を覺へずの眼が醒めても其の後の雨融け去りて跡もなきに如るよしもな只もう風の強いの斗りを歎いて居た方達に御通信申す

●暴風と出火（京城）

十九日より二十日にかけての暴風にて京城市内に火を失したるもの八ケ所あり警務總監部にては非番消防夫を召集して非常を警戒しゐたるため幸にして何れも大事に至らずして消し止めたり

●日鮮人の大爭鬪

十九日午後四時頃崇山實水町に於て多數の日鮮人大爭鬪をなし鮮人死者一名重傷者一名輕傷者二名を出し日人側にも負傷者數名ありたるが原因は鮮人の踏り居る處へ日人の投石したるにあり

●飛んだ誤迷惑

本紙十八日三面中京城西部仁王洞二統六戸官立高等學校卒業生金敎彰（二）外三名が鐘路通りの柳を折取り北部署にて笞刑に處せられし如く掲載しありしも右四人は車主鎬なるものにして金敎彰は只證人として取り調べを受けたるのみなりしと尙金敎彰は卒業後今や就職に汲々たるの折とて笞刑云々は就職の邪魔にもなる故訂正せられ度き旨申出でありたれば玆に訂正す

●仁川強盜の判決

仁川濱町片山實藏方へ去五日押入金三圓餘を强奪したる愛媛縣生れ渡邊千太郎は十九日仁川區裁判所に於て懲役五年に處せられしが即時服罪せり

●皮財布を拾得す

仁川宮町二丁目松尾精米所水田藤太郎は十九日午前十一時半宮町通りに皮財布金五圓三十錢入を拾得し屆出づ

●溺死体の漂着

去る十七日龍山下水溝里駐在不南面新江河岸に死後一ケ月餘經過せし年齡三十歳位の白周衣を纏ひ居る朝鮮人の死体漂着せしを發見龍山警察署に屆出でしかば屍体は形に依り檢死の後同里洞長に引渡せり

●小包代金を横領

本田健藏が仁川花町郵便所通信事務員に屆はれ中代金引替小包の代金を横領したる事件は京城地方裁判所に於て懲役六月に處せらる

●矮風禁酒演說會

旭町二丁目名古屋城内に於て廿一日午後七時半より矮風禁酒演說會開催警務府醫院附屬醫學校教官岡 忍君の演說「人体生理と飲酒」あり

京のうわさ

▲不景氣〳〵と申し條ても流石は春に御座候新町の此の頃相應の繁昌に御座候某所で今日は相當樓の花魁方のお噂を雜談的申上候▲昔藤樓の奕助、式部、吾妻の三人此の頃馬鹿に交情が惡くなつたに附き仔細なくては叶ふまじと探つて見たるに下の如き事實こそあれ▲時も日もた預りの或る日の事或勢藝妓風の女を除いた他は皆れ馴染のれ客樣足元フラ〳〵眼チラ〳〵娼妓を出せ酒と出せの大騷ぎ或る日も又其の夜も打つ續けての賑ひ惡戯び百何十圓かの勘定をツベタ擲つて咲へ構ひで又來るともすで歸つた客に待つたの如れ上の三人▲實所で其のれ客と云ふは本町の某金物商人一人は難儀〇の質物掛のタナハンさんとカウノとか云ふ方にて女は濱遊亭の梅勤抱子▲奕助常に曰くんですもの、他の人でも偉い妓の客は或役人に奢るへての始末と判明▲角樓の九重曰く六〇六號の注射をしたのは嬉し許りおやないのにサ▲大樹樓のオ二石精三具號落籍され當地にて世帶を持ちますからチトれ遊びに入來つしやいと申し居メも其の御所を聞けばワイ其所ですとは薄情な奴に候（瀧蛮）

▲大阪株式（五月限）（昨日後場）（當日前場）引 三三、六〇 三三、五〇〇

▲株式 鐘紡 大阪 東京 株式 六四、七〇 六四、八〇 一〇五、九四〇 一〇五、四〇〇 一〇五、三〇〇 一〇五、五〇〇 一六四〇 一〇五、〇〇〇

▲大阪期米 取引所 二二七、六〇 二二六、八〇 ●十九日前場四月止十六圓八十三錢▲五月止同上▲六月止九十九錢▲後場四

▲仁川米豆取引 ●廿日前場四月出十六圓八十九錢▲五月節九十四錢▲六月出十七圓十四錢 ●十九日後場四月出來不申▲五月出來不申▲六月出八十七錢

▲藥業界の黒鉛熱 昨今に至り目するもの輸出する有樣なるが右は最近内地より來外國人が朝鮮における黑鉛鑛山業を獨占せんとする計畫あるや評判

公債證券現物賣買
迅速確實に御取扱可申候
兼業
京城本町三丁目
大阪野村七代理店
田中友吉商店

漢城生花教授
今般諸君の御便利の爲め左記の所へ出張所を設置候に付御希望の方は御申込被下度候
京城永樂町（赤門前）
一光齋秀庵
龍山驛橋内　今井宅
京城新町　難波宅

寫眞　當館の技術は價の割に
牛額
京城本町四丁目
（寫眞撮影術所）
河合寫眞館

改良御料理
志津祢
南山町一丁目
電話千五百二番

庭造請負業
庭造又は御手入等の御用向有之候節は御一報次第御伺ひ可申候
尚ほ庭石、庭木の培養所（二ケ所）有り御入用の際は御一覽を希ふ
大和町二丁目二百八十一番戸
園藝師　大舘龜吉
電話一二三五番

純良消毒牛乳
京城東四軒町
岡野牧塲
電話千六十九番

最上醤油
登録商標
山十印
釀造元　千葉縣銚子町　岩崎重次郎
京城本町壹丁目
發賣元　三巴商會
電話七五三番

肉エキス葡萄酒（一名クヰンカーニス）
滋養なる甘味葡萄酒と著名なるリービヒ社肉エキス、麥芽エキスとより醸造せる强壯補血劑なり
京城本町三丁目
㊂龜屋商店
電話二十七番
振替二十七番

完全なる健康法は善良なる滋養を得るにあり

蜂印香竄葡萄酒
は佛國葡萄酒の精粹なれば醇良にして佳味日常の滋養劑として最良好適たる事を實地に保證せらる速に飲用あれ
發賣元　東京　近藤利兵衛

眼科
京城本町六丁目（元憲兵司令部通り）
金井眼科醫院
電話一五五六番
前大韓醫院眼科部長
院主　金井豐七

神易〇九星方位
京城南米倉町和樂園下
一心堂

水車唐箕製造販賣
京城昭和町百七番戸
土井米吉工塲
電話千三百二十六番

義齒術一般
京城明治町一丁目（森、村賀店横）
榊齒術所
電話（六六九番）へ

今回諸事改良をなし最も便利に取扱申候
静養所
仁川　八景園
營業主　早瀬福壽
（電話五五二番）

上等淸酒
釀造發賣元
仁川港
吉金酒店
電話七六四番

印章彫刻
ゴム印彫刻
諸官衙御用達
京城本町四丁目
赤帽子號印舖
奥野岩太郎
電話九三番

世帯道具は何でも有り升
外に宅ノ酩酒手ヨリ白米和洋ローソク上白シメ油㊟醤油ハ特約品
右品質上等直段下等大勉强販賣仕候間續々御用命奉願上候
日用雜貨　御問屋
京城本町六丁目
西崎嘉七本店
電話二百十番　電話（二カ）又ニ
振替貯金口座京城七番

朝鮮牛種及牛乳改良元祖
消毒純良
高等牛乳
當場飼畜の乳牛は悉くエーアシヤ、ゼルシー、ホルスタイン等の最も優逸なる洋牛而已なるが故搾取する所の牛乳は極めて純良無比なり
當場畜舍及搾乳室等其他一切の設備の完全なる他に比類なし
當場には種畜牛數頭飼養致候間種付御希望の方は御申込被下度候
當場には御遊覽用牛乳切手發賣致候
其他牧畜に關する一切の業務は叮嚀懇切に取扱可申候間御用命之程希上候
京城南大門外
荒井牧塲
（電話一〇五六番）
龍山本町三丁目
龍山販賣所
（電話二〇二番）

▲月經を整へ子宮病を全治す
月經閉止三四ヶ月の滯りを通じ其他月經不順より起る子宮病血の道、頭痛、食物進まず、氣分鬱ぎ、逆上頭く等の病を根治し、血のめぐりを能くす。
月經不順
二十世紀之新劑
最良新藥
㊂月丸
京城南大門通
新井藥房
電話一〇六八番　九〇〇番
振替口座京城十六番

最上醤油
京
大
登録　所造醸　堺浦大
（最上醤油　大塚浦　醸造所）

内外科小兒科梅毒淋病
入院隨意
京城壽町三丁目
高井醫院
電話（二一六）
院長　前陸軍々醫正　高井貞治

S.K.S.
日本專賣局定價インペリヤル一號金六圓二號金五圓
土耳古アシア　S.K.S.會社
代　ボ　サ　ス
販賣店は各地有名な煙草店にあり
●今回朝鮮總督府專賣局に於て前記會社と契約致し候に付販賣御希望の御方は至急御申越被下度特に御便宜御相談可仕候
●従來ザクリツク氏を以て販賣致させ居り候處今回「オチ」商會と本社との間に契約致し候に付是迄通りより倍一層御引立被下度希望仕候也
SKS會社製造
マニラRO會社製造葉巻
各種洋貨直輸入元
OC
仁川　オチ商會
朝鮮總代理店
電話七八番

酒精アルコール
●新荷着
仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電信略號）
坂倉支店

野田齒科專門醫院
京城本町二丁目百三十銀行横
電話（一〇四）

印刷と製本
諸紙
和洋帳簿
印刷
各種製本
諸官衙御用
京城本町六丁目
播本商店
電話百拾番

家傳名灸（とやいや）
●うちみ　くじき　はねつき　かづけ　特に婦人病專門
毎日午後二時迄點灸す
明治町二丁目百十番戸
荒川マッサージ院

新荷着
浪平板洋釘各種
多數御入用の御方は特に安價に御相談致可候
和洋金物商
京城本町貳丁目
㊎佐野彦藏商店
電話一六三番
振替口座京城一二〇番

東京足袋
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升
本店　東京
京城大和町一丁目（日の出橋際）
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番

薄口醤油
や
特約販賣
仁川　高雄支店
京城

恩給
年金扶助料　恩給年金　年利一割五分、三ヶ年　五ヶ年賦　割引せず
京城鐘路通り東洋保險會社裏小路相思洞卅九號八戸博多屋
上州屋支店
電話九〇五番

◉貸金
京城南大門通り三丁目一五別府
貴殿に確實なる擔保物に應じ御融通可申候
高橋

瓦斯コークス販賣
京城黄金町高橋商店隣
酒井組
電話一二四九番

仁川府觀通町
種觀養鷄場

●雞鳴雞ポーランド
●ノーモルダン系黑色ミノルカ
●アンダルシャン系スパニツシユ
●ブラマ系ワイアンドツト
●プリマウスロツク系
●ハンバーグ系
右種卵種雞御希望の方は御照會被下度

親切叮嚀に勉强可仕候
産婆　芝之モト
仁川宮町三丁目稻荷前
電話四一八番

京城支店
公州驛前の新
定期出帆
芙江丸　公州及芙江間
每日午前七時芙江發
御乘船の御用として乘
京釜驛　芙江驛前　中條運送店　江支店

キ
四月中　瀛船出帆廣告
商州行
海利丸　廿一日、廿三日、廿五日、廿七
安東丸　日、廿九日
濟州行　仁川、群山、木浦、濟州島
千葉丸　廿二日、廿四日、廿五日、廿七日、廿九日
二宮丸　廿一日、廿三日、廿五日
千葉丸　廿九日
合資會社　仁川本町四丁目
大田商會船舶部